



ロイズとクロサーヌ



あるところに
ロイズとクロサーヌという
それは、仲の良い夫婦が
おりました。

二人は、愛しあい、いたわりあい
それは、幸せに 暮らして
おりました。

二人の薔薇



ロイズもクロサーヌも
薔薇の花が 大好きで
それは、それは、美しいピンクの薔薇の花が
庭に 咲き誇って
おりました。

二人は いつも
"つぼみがふくらんだ" と、喜び
"花が咲いた" と、手を取り合い
"素晴らしい香り" と、ほほを寄せ合い
"花が散った" と、 涙を流し合って
おりました。



あるとき

幸せな夫婦に

とても、とても、悲しいことが
おこりました。

ロイズが突然

姿を 消したのです。

どこに行ってしまったのか

誰にも わかりません。

クロサー又は

それは、それは、悲しんで

毎日 泣いて

暮らしました。



1年、2年 と月日は たち・・・・・・・・
それでも クロサーヌは
薔薇だけを 愛して 暮らしました。

庭の きれいな ピンクの薔薇だけが
クロサーヌの なぐさめ でした。

たった 一人で
"つぼみがふくらんだ" と、少しほほえみ
"花が咲いた" と、祈るように 手を合わせ
"素晴らしい香り" と、ほほの 涙をぬぐい
"花が散った" と、ロイズを しのんで

おりました。

どんなに 愛しても

薔薇は やがて 枯れてしまいます。

そのたびに ロイズが去って行ったことを

思い出し 涙を流して

おりました。

薔薇色の石



あるとき

クロサーヌは 庭の 薔薇と薔薇の間に
ピンク色の石を 見つけました。

それは、それは、美しい

薔薇色の 大きな石で
優しい光りを 放っていました。

手に取ると フワっと優しい風が 身体中を 駆け抜け
ハートが ポッと 暖かく なりました。

そして、クロサーヌが 石を覗くと

そこには、なんと ロイズの姿が

クロサーヌは もう少しも さみしくありません。

薔薇の花は 枯れてしまいましたが
この薔薇色の石は

いつも、いつも、クロサーヌの側で
なぐさめて くれます。



ある日、クロサーヌの姿が
見えないので 心配した人々が
クロサーヌの家を 訪れました。

そこには、たくさんの薔薇の花に 囲まれて
それは、それは、美しい
大きな 薔薇色の石が ありました。

優しい ピンク色の 光りの中で

二人は 永遠の愛を 誓い
いつまでも、いつまでも、幸せに
暮らすことが できるのです。

愛の石



ロイズとクロサーヌの
愛する心の 宿った石
ロードクロサイト。

ロードクロサイトは
"過去の傷を癒して 前に進む勇気を与える石"
"結婚に結びつく 出会いの石"
として、今でも 多くの人々に
愛されて います。